

専門研修プログラム更新及び新規申請について（第二報）

2022年3月
一般社団法人日本形成外科学会
認定施設認定委員会 委員長
櫻庭 実

本年も専門研修プログラムに関しては2022年5月中旬に学会での一次審査を行い、6月から8月にかけて都道府県協議会及び日本専門医機構による審査（二次審査）を行う予定となっています。

また、2023年度専攻医に対しては、2022年11月に専攻医募集開始の予定です。

【プログラムの更新に関して】

本年からはエクセル資料だけの提出ではなく、下記の通りシステム上での手続きを必要としますので、ご注意ください。

（代わりにご提出頂くエクセル資料の量は減ります）

1. 専門医機構の研修プログラム管理システム上での更新手続き
機構の研修プログラムサイトへアクセス

<https://sys.jmsb.or.jp/trainingProgram/html/login.html>

*採用などを行っていただいたサイトです。

IDやPWは統括責任者の先生で管理いただいているものですので、学会事務局は分かりかねます。不明な場合はお手数ですが専門医機構までお尋ねください。

A) 統括責任者情報や登録者・連絡先担当者の変更がある場合、ここに情報を記載ください。また、最終的な希望定員数もちらに記載する必要があります。

B) 「冊子情報の変更」

こちらにこれまで提出頂いていた研修プログラム冊子の最新版をPDFファイル化し、アップロードしてください。また、各設問に対し、簡潔に情報を記載ください。こちらに関してはこのシステム上で専攻医がプログラムに関する情報をサイト上で閲覧する際に見られる情報になります。内容についてはプログラム冊子と重複する内容がほとんどだと思いますので、簡潔に記載し、「*詳細はプログラム冊子参照」として頂いても問題ございません。

C) 「連携施設、関連施設の変更」

プログラムの連携施設群に入っている施設をここに全て追記ください。（連携、連携候補、地域医療全て）

自身のプログラムに振り分けられている**按分後の指導医総数を各施設に記載ください。**

連携候補施設や地域医療連携施設の場合、指導医数は0になります。

また、過去連携していたが今は連携していない施設であっても、ここには指導医数0として施設一覧に残すよう機構から指示が来ていますのでよろしくお願いたします。

(理由は過去採用されている専攻医が自身のローテーション入力の際に対応できなくなるためとのこと)

新規で施設を追加する場合、連携施設区分は連携施設の場合「連携」、連携候補施設や地域医療連携施設の場合は「関連」を選択ください。

医師少数区域フラグに関しては各病院の状況に応じ、必要であれば設定ください。

上記全ての変更申請が完了した場合、システム上の「申請する」ボタンから申請を行ってください。

以上で専門医機構の研修プログラム管理システム上での更新手続きは完了となります。

2. 学会一次審査用のエクセル資料の作成

これまで作成いただいていた「専門研修プログラム申請書A」「専門研修プログラム申請書B」の内容を簡素化してまとめたシートを学会事務局よりお送りします。

HPにも下記に掲載済みです。

<https://jsprs.or.jp/specialist/shorui/index.html#contents10>

記入が必要なのは 1.～5.の赤く塗られたシートになります。記入が必要な箇所は全て黄色く塗られてる部分となり、その他は自動入力されます。自動入力箇所は編集をしないようにしてください

① 表紙

プログラム名、統括責任者名、申請日を記載ください

② 施設情報

プログラムを形成する連携施設群を全て記載ください。

これまでの申請書Aの「別紙2」の内容が主になります。

施設区分は「連携」「連携候補」「地域医療連携」の3つの区分から選択ください。

それぞれ下記が条件となります。

*連携施設・・・常勤の指導医が1名以上施設に在籍

連携候補施設・・・指導医はいないが常勤の専門医が1名以上在籍

地域医療連携施設・・・上記のように専門医も指導医もないが、地域医療研修を行うために連携するクリニックや希少な症例を経験するための美容病院など

按分後指導医総数には連携施設における按分後指導医の合計数を記載ください。

例) 指導医が2名いてそれぞれこのプログラムでは0.5ずつ按分されるとき、按分後指導医総数は1となる。(0.5+0.5)

③ 指導医情報

プログラム上構成される指導医をすべて記載ください。

自プログラムにおける按分が0の場合、本シートに記載しなくて結構です。

(按分が0の方や指導医でない場合は記載しなくてもOK→専門医資格のみの方など)

これまでの申請書Aの「別紙4」の内容が主になります。

会員番号を記載いただければ専門医番号や更新回数が自動で表示されます。

専門医を1回以上更新している方が暫定的に指導医としてカウントが可能です。

ですので、この更新回数が0の場合、指導医としてカウントできません。

(ただし、2021年度に初更新をされた先生の場合、こちらに0と表示されることがありますので、その場合はそのままご提出いただいて構いません。事務局にて確認を行います)

0列にはこのプログラムにおける按分割合を記載ください。

(小数での記載をお願いします。2/3ならば0.66など。エクセルに数式を入れていただいてもOKです。”=2/3”など)

統括責任者は本シートに指導医として記載できません。

*施設情報や指導医情報を記載する際に、枠が足りなくなった場合はお手数ですが学会事務局までお問い合わせください。

枠を増やした申請書を別途お渡しします。

④ 募集専攻医定員

希望する定員数、実際に雇用可能な人数(給料面やポスト等)の記載をしてください。

これまでの申請書Aの「別紙5」の内容が主になります。

「4-2.専攻医上限数確認シート」では、後述の入力された症例数に応じての雇用可能な専攻医数の確認を行うことが可能です。(5.症例数確認のシートが入力済みであることが条件)

⑤ 症例数確認

「施設情報」で入力いただいた分の施設一覧が表示されますので、**その施設における全体症例数に指導医の按分割合をかけた症例数を記載ください。**

算出は計算シート(これまでの申請書Aの別紙6や申請書Bの別紙1に該当)を用意しておりますのでこちらをご利用いただいて構いません。

基本的には按分後の基幹施設症例数と按分後の連携施設で合計数の症例数でプログラム全体の症例数を確認するため、連携候補施設や地域医療連携施設の症例数は原則0となりますが、プログラム全体数における症例数が上記のみでは少なく、専攻医応募の定員数に影響が出る場合は連携候補施設や地域医療連携施設の症例数を記載いただいて構いません

ん。(按分は不要)

上記の記載(連携候補や地域医療の施設の症例数の記載)がある場合、別途委員会でプログラムとして適正かの審査を行わせていただきます。

*基幹施設及び連携施設での経験症例のみが専攻医が専門医申請時の10症例に利用可能で、300症例についてはプログラム内の全ての施設(連携候補や地域医療連携も含む)での症例が利用可能です。

今後NCDを用いた経験症例確認機能を利用し、専攻医は症例管理を行うため、研修プログラム内での連携施設群でNCDを利用していない施設がある場合は必ず利用を開始するように基幹施設からお知らせください。

プログラム更新については上記の2種を対応いただければ終了となります。

【プログラムの新規申請に関して】

例年と同様に申請書類(上記の申請書A、B、プログラム冊子)をご提出いただきます。

HPにモデルプログラムや申請書の様式がございますので、整備基準なども確認しながら、それから書式をご用意いただき事務局まで提出ください。

(モデルプログラム及び申請書書式)

https://jsprs.or.jp/specialist/shutoku/seido/kenshu_program.html

(整備基準)

https://jsprs.or.jp/specialist/shutoku/seido/seibi_kijun.html

なお、東京や大阪などのシーリングのかかった地域を基幹施設とする研修プログラムの新規申請は原則認められませんのでご注意ください。

【専門研修プログラム申請受付期間】

2022年3月22日(火)～2022年4月22日(金)

【提出方法】

上記期間中に機構サイトでの提出(オンライン)

申請書のエクセルに関しては学会事務局へメールで提出とする

(下段問い合わせ先参照)

【問い合わせ先】

一般社団法人日本形成外科学会 事務局

Tel : 03-5287-6773

E-mail : jsprs-office01@shunkosha.com